

識別ポイントに係る資料

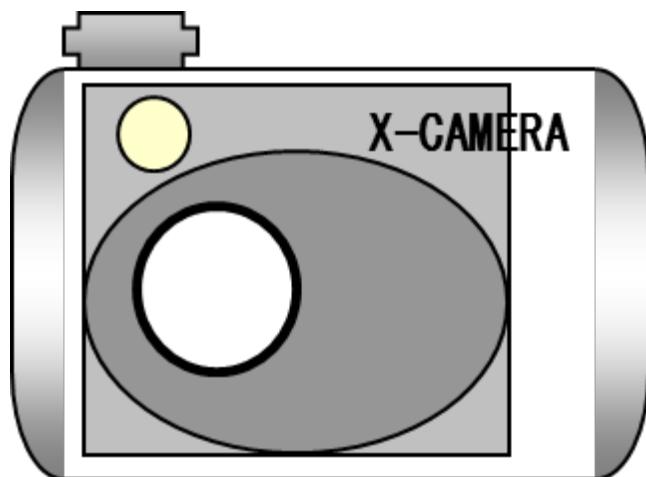
1. 差止対象物品

差止対象物品は、下記のイ号意匠である。

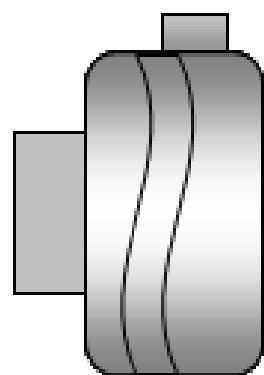
本資料は記載方法の一例です。
詳しくは税関にお問い合わせください。

物品：デジタルカメラ

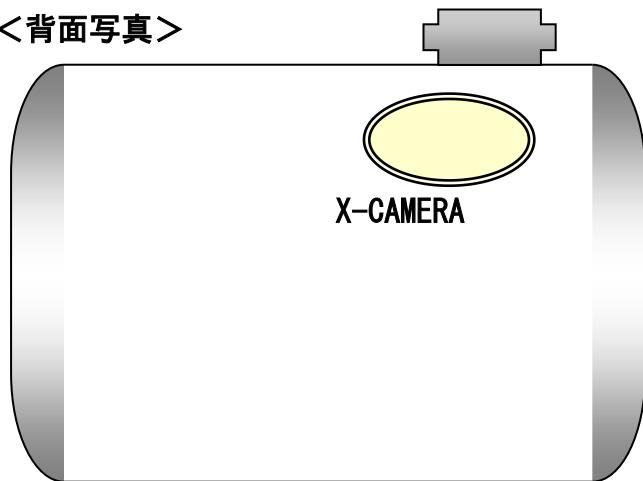
<正面写真>



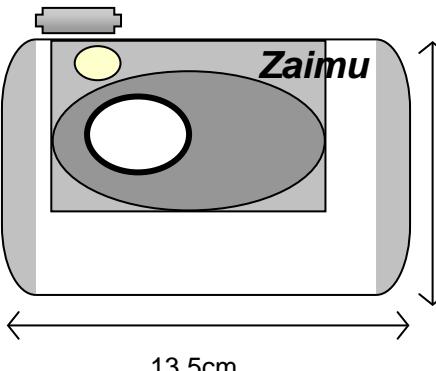
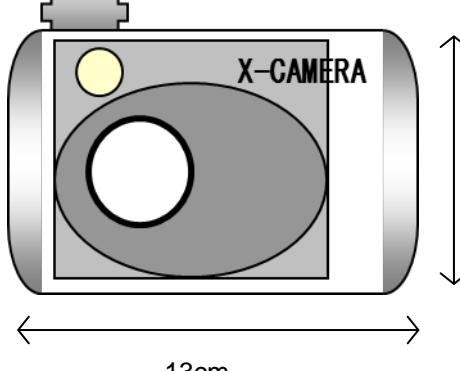
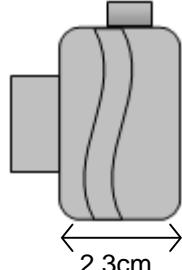
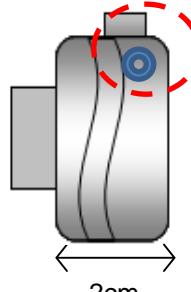
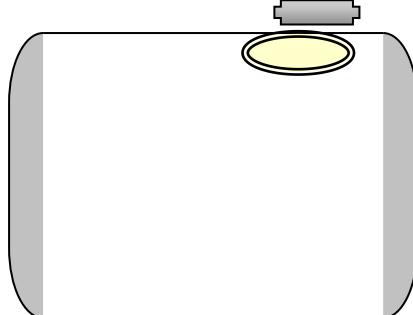
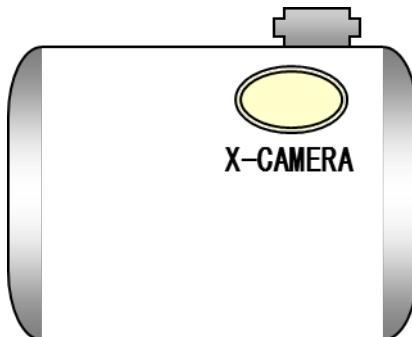
<左侧面写真>

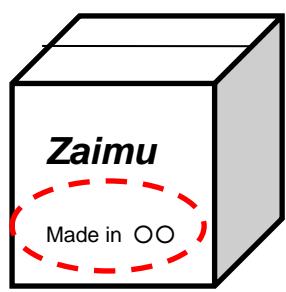


<背面写真>



2. 真正品と侵害品（差止対象品）の相違点

正品	侵害品（差止対象品）
<p>＜正面写真＞</p> 	<p>＜正面写真＞</p> 
<p>撮影レンズの右上部に 権利者のメーカー名である 「Zaimu」の表記がある。</p>	<p>撮影レンズの右上部に 「X-CAMERA」の表記がある。</p>
<p>＜左侧面写真＞</p>  <p>ストラップ用リングは ない。 本体両端はモノカラー である。</p>	<p>＜左侧面写真＞</p>  <p>ストラップ用リングが 取り付けられている。 本体両端はグラデーシ ョンカラーである。</p>
<p>＜背面写真＞</p>  <p>背面に表記は存在しない。</p>	<p>＜背面写真＞</p>  <p>ファインダーレンズの下部に 「X-CAMERA」の表記がある。</p>

真正品	侵害品（差止対象品）
<p>＜送品個装箱＞</p>  <p>立方体の緑色の箱に「Zaimu」の表示がある。</p>	<p>＜送品個装箱＞</p>  <p>直方体の緑色の箱に「X-CAMERA」と型番の表示がある。</p>
<p>＜輸送用外装箱＞</p>  <p>「Zaimu」の表示がある。 原産地表示あり (権利者製品は ○○国のみで製 造)</p>	<p>箱のいずれかの面に、原産地表示シールが貼付されている。</p> <p>＜輸送用外装箱＞</p> <p>不明</p>

「識別ポイントに係る資料」作成上の留意点

- 差止対象品を特定した上で、識別ポイントを記載して下さい。
- 差止対象品の特定は、全体と特徴がわかる写真を添付して下さい。必要に応じて拡大写真等を添付して下さい。また、必ずしも6面図が必要ではありません。
- 識別ポイントは、税関が侵害疑義物品を発見するための参考となるポイントです。
- 真正品又は侵害物品に特有の表示、形状、包装等の真正商品と侵害物品を識別するポイントや方法を記載してください。権利の内容と直接関係しない事項でも構いません。
- 記載にあたっては、
 - ・真正品又は侵害物品の全体が分かるようにしてください。
 - ・識別のポイントとなる箇所の全体から見た位置が分かるようにしてください。
 - ・可能な限り、鮮明な画像としてください。